



おつかしげのり 新正会 大塚重忠 議員

市内道路整備について

問 成田空港の機能強化に伴い、空港周辺地域で地域振興事業が今後非常に重要になります。しかし、市では成東地区から空港へ向かう道路がありません。急激な環境の変化に対応するために、成東地区から成田空港へ向かう道路を整備することが必要と考えますがどうですか。

答 市長 成田空港周辺との近接性等の立地条件を活用した市のまちづくりを進める上では、成東・山武地域から成田空港方面へのアクセス道路については必要ではないかと考えます。

答 都市建設部長 山武警察署付近から、山武地区陸岡方面に向かう県道成東・山武線の、松尾地区側の丘陵地を並走する市道等の成田空港方面へのアクセス道路の整備ですが、総延長約10kmにわたる長い路線のため、全体整備計画の策定が重要と考えます。将

来交通量の検証や費用対効果等の確認、整備手法の検討、地元地区の意向など、本路線のあり方、実現の可能性について確認していきたいと考えます。

こども園について

問 まつおこども園が豊岡小学校へ移転しますが、その進捗状況について伺います。

答 保健福祉部長 まつおこども園は、現豊岡小学校校舎を平成31年度に改修し、平成32年4月開園の計画で、準備を進めています。本年度は、実施設計業務を進めています。

市内開業医について

問 少子高齢社会の中、開業医の果たす役割は非常に重要だと思います。山武地域には、市で管理する国保日向診療所がありますが、年間延べ患者数は何人ですか。

答 保健福祉部長 平成27年度実績で7825人、平成28年度実績で7548人、平成29年度実績で7443人です。

問 医師の高齢化や後継者不足など、今後開業医が減少する可能性も想定しなければなりません。日向診療所においても、医師にはかなりの年月を頑張つて診療にあたっていたと考えています。市はどのような対策を考えてい

ますか。

答 市長 国保日向診療所は昭和53年に開設され、地域の身近な医療機関として多くの方が診療を受けています。市としては、先生の意向を尊重しながら、国保日向診療所のあり方について、検討もしていかなければいけないと思います。

また、開業医の先生は、かかりつけ医として重要な役割を担います。市民が地域で継続性のある適切な診療を受けられるように、さんむ医療センターにもその一翼を担ってもらう必要があると思います。

問 国保日向診療所へ向かう進入路等は危険な場所もあります。高齢者が安心して通えるように、できれば公共交通機関で通えるような場所を選定し、継続してはどうかと思いますがどうですか。

答 市長 国保日向診療所の移転については、診療所のあり方や方向性とともに検討していきます。

作田川の整備状況について

問 日向駅周辺については、降水により、床下浸水等を繰り返しています。各地で災害が起きる中、住民は非常に不安な日々を過ごしています。現在、継続事業として作田川の成東堰近辺の整備を行っていますが、進捗状況

について伺います。

答 都市建設部長 県に確認したところ、成東堰本体及び周辺河川改修工事には、あと数年の期間を要することです。

問 成東堰近辺の工事と、日向駅周辺の再工事等を、同時に行うことはできませんか。

答 都市建設部長 工事は必要と考えますが、県では作田川整備計画に基づき下流部から整備することです。



作田川(日向駅付近)

残土条例について

問 旧山武町の時に、県条例よりも厳しい残土条例を制定しました。その条例に違反した件数は何件ですか。

答 経済環境部長 残土の埋め立てによる地下水の水質の汚濁の防止に関する条例の違反事例は、平成18年から平成30年8月末現在で、成東地域で3件、山武地域で6件、松尾地域で1件です。条例違反により、指導・改善された案件は10件中7件で、残りの3件については、継続指導を行っています。